

## (10) 中学校技術家庭部会

会 長 橋田 年弘 (県立中村中)  
副会長 大西 知佐 (中村中)  
事務局 石崎 桂 (西土佐中)

1. 研究主題 「実践的な姿勢を持ち、主体的・対話的に学べる生徒の育成」

### 2. 研究経過

| 実施年月日            | 研究のあらまし  | 会場              |
|------------------|--|-----------------|
| 4月初旬～<br>5月9日(火) | 四万十市教育研究会組織総会<br>・役員選出 ・研究主題設定 ・年間計画                                   | 四万十市立<br>中村中学校  |
| 8月4日(金)          | 四万十市教育研究会 夏季研修会<br>第1回学習会<br>技術分野 内容 D<br>「Life is Tech Lesson」操作・活用研修 | 四万十市立<br>中村西中学校 |
|                  | 四万十市教育研究会 夏季研修会<br>第1回学習会<br>家庭分野 内容 C 被服実習・情報共有                       | 四万十市立<br>中村中学校  |

### 3. 今年度の取り組み

○第1回学習会

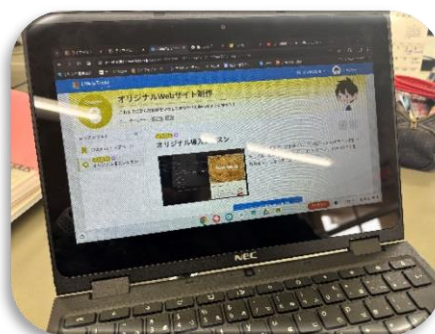
#### 【技術分野】

・技術分野において、技術分野は免許外での教科担当が半数と多い。そのため夏季研修では、実践交流とともに各校での課題についても話し合い専科からアドバイスを行う形で実施した。また、今年度は特に内容 D「情報の技術」で四万十市独自に「Life is Tech ! Lesson」と取り入れたため操作・活用方法を習得しなければならないこともあり、活用・実践方法についてを中心に研修を実施した。

さらに、ICTの活用方法やほかの科目でも使えるアプリなどの情報も交換し授業形態についての研修・計画を行った。

～技術科部会後の感想～

- 今後の ICT 活用の方法についていろいろなことが知れてよかった。
- 臨時免許で技術を教えている現状もあるため、専門知識をもって授業を行うことができないところもある。
- 現状の学校で、できる限りの道具の準備や備品整理をしていきたい。
- 基礎的な「Life is Tech ! Lesson」の利用・活用方法が知れてよかった。
- 実際に自分が「Life is Tech ! Lesson」を体験して  
フリーズしてしまう場面やハプニングが起きた時に  
生徒が使用する時にも、起こる可能性があるので注  
意が必要になると感じた。



## 【家庭分野】

- ・家庭科部会では、各校の年間計画についての情報交換と被服に関する実習を教科書に載っている基本的な作品づくりを行った。家庭科部会も免許外が多く、各校の実習内容や、授業実践についての交流を行うことで今後の実践に活かせる部会となりました。特に評価や観点についてや、ICTをどのようにうまく活用していけばいいのかななどを協議することができた。

### ～家庭科部会後の感想～

- すぐに使えるものを考えることができたし、実習の際に生徒に提示する教材作りもできた。
- 細かい指導法を知ることができ、事前に評価する箇所を決めて取り掛かるなど、具体的な評価方法が分かった。また、ワークシートなどたくさん交流でき、大変勉強になった。
- ICT活用について、実際にすぐに取り入れられるものが多くあったので実践しようと思う。
- 興味を引き付けないといけない生徒のために視覚に訴えるような課題設定が大切だと感じた。

## 4. 成果と課題

### 〈成果〉

- 臨時免許で教えているため知らないところがたくさんあったが、専門的なことを学ぶことができた。
- 長年参加者より希望のあった「実践紹介」に関して、希望に沿う内容の学習会を開くことができた。
- 参加者が積極的に発言することで、内容をより深いものにすることができた。また、今後の新しいICTの活用法や情報発信の裏側を知ることができ、知識の幅を広げることができた。

### 〈課題〉

- 特に実習を伴う教科なので、実習を踏まえた研修会の必要性を感じた。
- 各学校での様々な取り組みを共有できる機会があれば、より課題に迫る協議なども可能になるため各校の取り組み状況を紹介できる場の設定（技術・家庭科クラスルーム作成）があればいいと感じた。
- 夏季研修会で学びたい内容を事前に協議した上で講義や演習をお願いできればより一層充実した活動になると思う。

